

○参加報道機関(敬称略)

信濃毎日新聞社飯田支社、NHK日本放送協会飯田報道室、毎日新聞社飯田通信部、中日新聞飯田支局、南信州新聞社、NBS長野放送飯田支局、ICTV(株)飯田ケーブルテレビ、Iステーション飯田エフエム

○会見内容(敬称略)

進行【秘書広報課長】

1 開会

2 市長あいさつ

本日は、第12回飯田丘のまちフェスティバルの開催について追加の情報がありますので、このことについて発表させていただきます。

昨日開催された「リニア・モビリティ革命と都市・地域フォーラム in 飯田」の中で、「飯田市はラウンドアバウトの社会実験を積み重ね、法改正にまで結び付ける取り組みをしてきたが、自動運転についても社会実験などに取り組んで行きたい」という主旨の発言をさせていただきました。この度、ラウンドアバウトを使った自動運転の社会実験をKDDIと一緒にやることになりましたが、多くの人が集まる丘フェスの中で実証実験ができるということは、この地域の情報発信にもつながると思っています。

3 発表事項

(1) 第12回 飯田丘のまちフェスティバルの開催について(追加情報)【産業経済部】

資料にもとづき説明

説明者：商業・市街地活性化課

〈質疑応答〉

毎日新聞

自動運転と連動したVRコンテンツ体験の実証実験の運行距離を教えてください。

飯田市

出発点から約200m先のラウンドアバウトまで行き、ラウンドアバウトを2周して帰ってきます。全体で600m程度となる予定です。

南信州新聞

VRコンテンツの内容を教えてください。

飯田市

飯田市非常勤特別職員であるVRキャラクターのレナが総合案内を担当し、いいだ人形劇フェスタマスコットキャラクターのぼおが看板を持って街中の案内をします。ラウンドアウトではナミキちゃんも登場し、飯田市の紹介をする予定です。

NHK

市としては自動運転の実証実験とVRコンテンツ体験とでは、どちらが主で取り組んでいますか。

飯田市長

市としてはどちらにも取り組んでいます。飯田市内で自動運転の実証実験を行うのは初めてですし、そこにVRコンテンツを加えた取り組みを行うのは、おそらく国内初めてではないかと思えます。

信濃毎日新聞

自動運転とVRコンテンツを組み合わせることの意義をどのように考えていますか。

飯田市長

今までは、ハードとしての自動運転と、ソフトとしてのVRに取り組んできましたが、それを融合させた体験を試みようということです。将来のツアーガイドをイメージできる体験ができればと思います。

信濃毎日新聞

今回の実証実験の場が飯田になった背景を教えてください。

飯田市

バーチャルキャラクターを活用した取り組みとして、KDDI様と連携したことがきっかけです。

飯田市長

自動運転については、県内では伊那市さんが先導的な取り組みをされてきていますが、街中で自動運転を行うのは県内では初めてになると思います。バーチャルキャラクターとの融合という意味で、注目度が高く全国から情報発信ができる皆さんが集まる飯田の丘フェスを評価してくださっているのではと思います。

信濃毎日新聞

当日乗車体験できるのはどのような方ですか。

飯田市

先着順で配布する整理券をお持ちの一般の方と、地元地区の方などが乗車体験する予定です。

毎日新聞

今回の実験では、安全性はどのように担保されていますか。

飯田市

自動運転には、レベルがあり、レベル5まであるうち、今回はドライバーが運転席に座って実施するレベル3の実験を行います。

4 その他

NBS

かぶちゃん農園の一連の件について、市長はどのように受け止めているか教えてください。

飯田市長

市田柿のブランド化に大変貢献してくださった会社が破綻してしまったということで、私自身も残念に思っています。農家が貸していた柿畑の権利関係がはっきりしないと、柿の収穫ができないという状況になっていますので、破産管財人の意向がポイントになってくるとは思います。市としても県とも一緒になってできる限り柿の収穫ができるようにしたいという思いです。

NBS

今後の対応はどのように考えていますか。

飯田市

長野県農業開発公社が破産管財人と詰めています。権利関係がはっきりしたところで対策を練っていくこととしています。なんとか今期の収穫をして、柿畑を放置しないようにしたいと考えています。

かぶちゃん農園、かぶちゃんファーム、かぶちゃん信州乳業、かぶちゃん製菓、かぶちゃん農園食堂の5社の離職者が146人にもものぼると聞いています。雇用対策については、非常に大きな課題として認識しており、まずはハローワークや県と連携しながら行う説明会を通じて雇用に繋げていく取り組みをしていきたいと考えています。

この内容については、言葉遣いや言い回しなどを整理した上で作成しています。

(作成：秘書広報課広報広聴係)